

以下のことによって時代を転換する新しい復興のための、主の回復の現在の真理

1. 神聖な啓示の高嶺に到達する
2. 神・人の生活を生きる
3. 牧養の道を取って、福音を宣べ伝え、召会を復興する

以下の啓示と実際にしたがって

1. 神の定められた召会の道、すなわち、ヒラデルヒヤに在る召会
2. 新約の唯一の務め
3. 詩編第二三篇における霊なるキリストの有機的な牧養

わたしたちを三一の神の中の柱、キリストの発光体に構成して、神の建造と神の
栄光とならせる

主題：信徒

メッセージ 16

彼らの象徴——柱と発光体

聖書：啓 3:7-13. ピリピ 2:12-16

- I. 三一の神の中の柱となるために、わたしたちは召会のために神が定められた道、すなわち、ヒラデルヒヤの道を取らなければなりません。ヒラデルヒヤに在る召会によって表徴されている回復された召会だけが、神の永遠の定められた御旨を成就し、彼の心の願いを満たすことができます——啓 3:7-13：
- A. ヒラデルヒヤにおいて勝利を得た信徒たちは柱であり、真理の柱また基礎としての召会のために、現にある真理を知っており、真理の絶対性を保持し、真理で構成されています——Ⅱペテロ 1:12. Ⅰテモテ 3:15-16。
- B. ヒラデルヒヤにおいて勝利を得た信徒たちは、自分もっているものをしっかりと保ちます。彼らが、持っているものは「この務め」、すなわち、新約の唯一の務めです。実は主の回復とは、わたしたちを新約の唯一の務めへと連れ戻すことです——啓 3:11. Ⅱコリント 4:1。
1. その霊の務めとは、新契約の務めであり、神聖で奥義的な「インク」としての生ける神の霊をもってわたしたちの心に書き記すことによってわたしたちを神化し、わたしたちをキリストの生ける手紙とします。これが神聖な啓示の最高峰です——3:3, 6, 8, 18, 4:1. 参照、啓 2:7 後半. 22:17 前半。
 2. 義の務めは、キリストの務めです。キリストは、わたしたちの義認のための客観的な義であり、その霊の造り変える働きによって刺繍されたわたしたちの主観的な義です。それは、神の有機的な救いにおいてキリストを生かし出し、真にキリストを表現するためです。これが神・人の生活です——Ⅱコリント 3:9. 詩 45:1, 13-14. ローマ 5:10。
 3. 和解する務めは、罪の赦しを通してこの世をキリストに和解させ、彼らを法理的に贖う務めです。また、信徒たちをキリストに和解させ、彼らが霊、すなわち、至聖所の中を生きる人にし、彼らを有機的に救う務めです。これが神にしたがって人々を牧養することです——Ⅱコリント 5:18-21. Ⅰペテロ 5:1-4。
 4. 成就されて柱となる道とは、この務めをしっかり保ち、神のエコノミーの積極的な内容を大いに楽しみ、神の頭首権の下で主の動きの現在の流れの中にとどまり、死と分裂から離れ去ることです——Ⅰテモテ 3:10. 4:15. ローマ 8:6. 16:17. Ⅰヨハネ 2:18-20. Ⅰコリント 11:19. 民 16:3, 7。
- C. ヒラデルヒヤにおける勝利者の特徴は、彼らが神のエコノミーについての神聖な啓示の最高峰に到達したということです：
1. アジアにおける一つの召会は独特であり、主によって高く評価されました。それはヒラデルヒヤに在る召会です。主が彼らを評価したのは、彼らが言を守ったからです。それが意味することは、彼らが使徒たちの教えの言葉、神のエコノミーの健康な教え、神聖な啓示の最高峰から離れ去らなかったということです——啓

3:8. II テモテ 3:16-17. I テモテ 1:3-4.

2. 勝利者たちが宮の柱となることは、彼らが三一の神の中の柱となることを意味します。なぜなら、宮は「主なる神、全能者と小羊」であるからです。神は彼らの中へと建造されて彼らを神の中の生ける、尊い石とします。彼らは神の中へと建造されて神の中の石の柱となり、神と合併されて、神と人との相互の住まいとなります——啓 3:12 前半. 21:22, 3. 詩 90:1. ヨハネ 14:23. 参照、列王上 7:15-22.
 3. 神の御名と、新エルサレムの名と、主の新しい名が勝利者たちの上に書き記されていることが示しているのは、神であるもの、新エルサレムの性質、主のパーソンすべてが、彼らの中に造り込まれ、彼らを三一の神で名前をつけ、神格においてではなく、命と性質において神とすることです——啓 3:12 後半. 22:4 後半.
- D. ヒラデルヒヤにおける勝利者たちの特徴は、キリストの豊富を享受することによる彼らの神・人の生活です—— 3:7. イザヤ 22:15, 20-24 :
1. ヒラデルヒヤにおける勝利者たちは、少しばかりの力を持っています。これが示していることは、主を喜ばせるのは、わたしたちが彼のために多く行なうことではなく、わたしたちが持っているものをもって彼のために最善を尽くすことであるということです——啓 3:8. II コリント 12:7-10. マルコ 14:8.
 2. ヒラデルヒヤにおける勝利者たちは、主の言を守ります。彼らは、祈りによって神の息を持つ神の人となることにより、また神のエコノミーの健康な教えにとどまることにより、神の息吹かれた聖書を受け取ります——啓 3:8. エペソ 6:17-18. II テモテ 3:14-17. 参照、I テモテ 6:3-4.
 3. ヒラデルヒヤにおける勝利者たちは主の御名を否みません。彼らは主イエス・キリストの御名以外のすべての名を放棄します。彼らは主の御名を呼び求め（ローマ 10:9-10, 12-13）、イエス・キリストは主であると公に言い表し、父なる神に栄光を得させます（ピリピ 2:11）。
- E. ヒラデルヒヤにおける勝利者たちの特徴は、彼らの兄弟愛です。愛は彼らの間で優勢であり、彼らは神にしたがって、すなわち、父なる神の愛し赦す心と、救い主キリストの牧養し探し求める霊にしたがって人々を牧養します :
1. 主の回復は、主イエスを愛することの回復です。ヒラデルヒヤにおける勝利者たちは一の真の立場に立ち、自分自身を神の愛の中に保って主を愛し、すべての兄弟を愛します——ユダ 20-21. II コリント 5:14. ヨハネ 12:3. ルカ 7:47. I ヨハネ 3:14-16. 参照、詩 133 篇。
 2. 召会の中で第一となることを愛することは、すべての事柄において主に第一位を与えることによって主を初めの愛とすることに相対します——III ヨハネ 9. コロサイ 1:18 後半。
 3. バイタルグループの中で、愛が優勢でなければなりません。神がまずわたしたちを愛し、わたしたちにご自身の愛を注入し、わたしたちの内側で愛を生み出されました。その愛でわたしたちは彼と兄弟たち愛します—— I コリント 12:31 後半. 13:4-8, 13. I ヨハネ 3:14.
- F. ヒラデルヒヤの道は、詩篇第 23 篇で啓示されている神の永遠のエコノミーの道であり、キリストが彼の天の務めにおいて召会を牧養し、彼の神聖な三一においてご

自身をわたしたちの存在の中へと分与する道です。それは、わたしたちが神・人の生活を生きて神聖な啓示の最高峰に到達するためです。

II. 曲がったよしまな世代のただ中で、わたしたちの機能は、発光体のように輝き、命の言を提供することです——ピリピ2: 12-16:

- A. キリストは太陽であり、月としての召会を持っています。信徒は惑星であり、キリストを映すことによって命の言を提供します。命の言を提供することは、それを適用し、提示し、この世にささげることです——使徒 5:20。
- B. わたしたちの内でも活動する神は (ピリピ 2:13)、供給する霊 (1:19)、復活の力 (3:10)、力づけてくださるキリストです (4:13)。発光体のように輝くとは (2:15) キリストを大きく表現することであり (1:20)、命の言を提供するとは (2:16) キリストを生きることです (1:21 前半)。
- C. わたしたちはキリストを復活の力として、内でも活動する神として、わたしたちを力づけてくださる方として知り、世にあって発光体のように輝いて彼を大きく表現することを切望しなければなりません—— 3:10. 2:13. 4:13. 1:20。
- D. ペテロを肉体的に獄から解放した力は神の力でしたが、パウロが獄の中にいたときに経験した力は復活の力でした——使徒 5:18-20. ピリピ 1:19. 3:10。
1. 神の新約エコノミーにおける神の意図は、外側の奇跡ではなく内側の奇跡です。内側の驚異とは、その霊としてのキリストがわたしたちの中に造り込まれて、わたしたちの救いとなり、弱さの中にあるわたしたちを内側で支え、増強し、力づけてキリストを輝き出させることです—— II コリント 12:7-10。
 2. 力づけてくださるキリストは、どのような種類の環境、状況においても、わたしたちがキリストを輝き出して彼を表現するための秘訣です。この秘訣の秘訣は、わたしたちの霊の中のイエス・キリストのすべてを含む霊であり、彼はわたしたちの日ごとの、瞬間ごとの救いです——ピリピ 1:19. 4:23。
- E. つぶやくことと議論することはいずれも、キリストを経験し、享受することを妨げ、彼がご自身の栄光のためにわたしたちの中で、またわたしたちを通して輝くことを妨げます。
1. つぶやくことは、揚げ足を取ること、密かに議論すること、不満、不平など、不満があつて、密かにぶつぶつ文句を言うことです。「彼らのある者がつぶやいて、滅ぼす者によって滅ぼされたように、つぶやいてはいけません」—— I コリント 10:10。
 2. 議論することは、疑惑や疑いの要素を伴う論争と議論です。それには、疑問、疑い、判断や結論を下すことを含みます—— I テモテ 1:3-6. 6:3-4. II コリント 11:2-3。
 3. 反抗的な、ののしる言葉は、議論することから来ます。主のしもべは、主によって明らかにされて「祝福された盲目」を持ち、暗やみの権威の下で善悪の領域の中でではなく、光の権威の下で命の領域の中で、キリストの頭首権の下で生きて、議論することから救われなければなりません——使徒 22:10. コロサイ 1:12-13. ローマ 9:20-21. 11:34. 参照、使徒 16:25。
 4. 人の反逆は、言葉、思想、議論の中に現れます。思想と議論は、神の敵であるサタンの要塞であり、神に不従順な者たちの思いの中にあります。霊的戦いを通し

て、議論は打ち破られ、あらゆる思想はとりこにされ、キリストに対して従順にされなければなりません——Ⅱコリント 10:3-5。

5. レビ記第 18 章から第 22 章の中で主が彼の民に何かをするように命じるときはいつでも、命令の間に「わたしはエホバである」という言葉を挿入しました。そこには、「なぜなら」という言葉さえありません。「わたしはエホバである」が根拠です。

F. キリストを生き、発光体としてキリストを輝き出すために、つぶやくことと議論することから救われる道は、わたしたちの内側で動機づける力である彼との接触の中にとどまることですが、それは以下の事柄によります。すなわち、彼を命の言として享受すること、祈りの中で彼と交わること、そしてわたしたちのすばらしい霊の中で、すばらしい霊としての三一の神によって、キリストの栄光のからだのために、享受のある、感謝と賛美にあふれた生活を生きることです——ピリピ 1:19. 2:13. 3:10. 4:13. 2:15. 4:6. I テサロニケ 5:16-20。

©2007 Living Stream Ministry